

# 令和7年第10回定例教育委員会

令和7年10月30日（木）午後2時30分

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	黒川淳司	説明員	教育部長	佐藤学
	委員	麓美絵		教育部次長	新山千穂
	委員	新館忠義		学校教育支援室長	
	委員	兼子弘詔			小椋公司
	委員	松田久美		総務課長	山崎浩克
				総務課参事	伊藤麻美
				学校教育課長	稲田征己
				教育支援課長	水口武
				教育支援課参事	米山昌樹
				給食センター長	三浦洋
				対雁調理場長	井上滋
				生涯学習課長	星野真
				スポーツ課長	松井正行
				スポーツ課主幹	天野保則
				情報図書館長	佐野之範
				郷土資料館長	堀井修
				郷土資料館参事	兼平一志
			記録員	総務課総務係長	本田拓也
			傍聴者	1名	

## 1 報告事項

- (1) 令和8年度予算編成方針について
- (2) 学校給食費単価の改定について
- (3) 江別市学校給食用食器検討委員会の開催について

## 2 審議事項

- (1) 令和7年議案第30号  
江別市特別職の職員の期末手当の支給割合引上げに係る意見について
- (2) 令和7年議案第31号  
江別市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 令和7年議案第32号  
令和7年度江別市一般会計補正予算について
- (4) 令和7年議案第33号  
指定管理者の指定について
- (5) 令和7年議案第34号  
指定管理者の指定について
- (6) 令和7年議案第35号  
江別市長の権限に属する事務の補助執行廃止について
- (7) 令和7年議案第36号  
江別市陶芸の里条例の廃止に係る意見について
- (8) 令和7年議案第37号  
江別市セラミックアートセンター条例の制定について

## 3 その他

- 各課所管事項について
  - (1) 陳情書、要望書及び「市民の声」に係る処理経過について
- 次回教育委員会予定案件について
- 令和7年第11回定例教育委員会の日程について

会 議 録	
黒川教育長	<p>(開会)</p> <p>ただいまから、令和7年第10回定例教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は配付のとおりであります。開会前に確認いたしましたとおり、2の審議事項(3)議案第32号令和7年度江別市一般会計補正予算については、秘密会で取り扱うこととし、議事の冒頭に行くことといたします。</p> <p>また、審議事項(6)議案第35号から(8)議案第37号までの3件の議案につきましては、関連がありますことから、一括説明、一括質疑のあと、1件ずつ承認を諮ることとします。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を麓委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>&lt;秘密会につき会議録省略&gt;</p>
黒川教育長	<p>委員会を再開します。</p> <p>1の報告事項(1)令和8年度予算編成方針についての報告を求めます。</p>
佐藤教育部長	<p>佐藤教育部長お願いします。</p> <p>報告事項(1)令和8年度予算編成方針について、ご報告申し上げます。</p> <p>資料に記載の内容は、去る10月10日の拡大庁議を経て、市長から示されたもので、市のホームページでも公開されておりますが、私から、特徴的な事項について申し上げます。</p> <p>初めに、資料1ページ、1の総論であります。国は、本年6月のいわゆる「骨太の方針」において、経済を成長させ、財政健全化に向けて取り組むことで、有事に対応する財政余力を確保し、将来の経済・財政・社会保障の持続可能性を確保することとしており、この方針を踏まえた、令和8年度概算要求では、予算の中身を大胆に重点化することに加え、物価上昇に合わせた公的制度の点検等も踏まえ、経済・物価動向等を適切に反映することを示しております。当市においては、市税や地方交付税等の一般財源総額については一定程度の増加が見込まれるものの、近年の社会保障費や労務単価等の上昇による影響を考慮すると、令和7年度予算と比べると一層厳しい予算編成となることが予想され、令和8年度予算編成に当たっては、職員の創意工夫により財源確保を図るとともに、経費削減に係る具体策を示したうえで政策の推進に必要な予算を要求することとされております。</p> <p>次に、2の政策の基本方針であります。令和8年度も、引き続き、第7次総合計画で示す、まちづくりの基本理念で掲げる「いつまでも元気なまち」、「子どもの笑顔があふれるまち」など、5つの柱の方向性を意識して政策を形成することや、魅力的なまちづくりに向けた「えべつ未来戦略」と、人口減少対策の基本となる「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を中枢に据えて事業を展開するよう示されております。そのため、予算及び人員を重点事項に効果的に配分することができるよう、既存事業の見直しも含めて総合的に検討することや、国が重点投資を行う分野等に関しては、機会を逃さず取り組む必要があり、国や道等の動向を注視して対応することが求められております。</p> <p>2ページをお開きください。次に、3の重点事項として、2点が掲げられております。</p> <p>1点目の「えべつ未来戦略の推進」では、えべつ未来戦略では、「協働」を基盤に据え、「情報発信・ICT化」を推進機能に位置付けながら、5つの戦略テーマを定めており、3年次目となる令和8年度においては、これまでの取り組みを踏まえた上で各戦略を着実に推進することができる事業体系を構築することとされております。①から⑤まで、5つの戦略テーマのうち、①の「子どもが主役のまちをつくる」は特に教育部が所管する事業が大きく関わるものと考えておりますが、教育環境の充実や子どもの居場所、学習の場の確保など、全ての子どもが、健やかに育ち、学び、笑顔で暮らせるよう、子どもの気持ちや権利を尊重しながら、子どもにやさしいまちづくりを進めることとされているところです。</p> <p>2点目の「重要課題への対応」では、市長が示す8つの課題への対応として、目指すべき目標と達成までのスケジュールを整理したうえで施策を具体化することとされており、この8つの課題の中にも4点目に教育部が主に所管する「教育・文化」が位置付けられております。</p>

	<p>3 ページをお開きください。予算編成の基本方針では、財政見通しにおいて市税や地方交付税の増加を見込むものの、歳出では、社会保障費の増加や物価高騰の影響が見込まれ、各事業をこれまでと同じ手法・数量等で積算した場合に、多額の歳出超過が生じると推計していること、健全な行財政運営を持続していくためには、当初予算編成における地方債や基金への過度な依存を抑制すること、などが示されております。さらに、大型事業として本庁舎の建設を予定する中、すべての投資的経費について、実施時期や仕様の見直しにより事業費総額の縮減について検討することや、再建に向けて経営強化の取り組みを進めている市立病院を引き続き、全庁一丸となって支えていくことに触れたうえで、最小の経費で最大の効果が得られるよう、前例にとらわれることなく事務事業の見直しを検討するとされております。</p> <p>予算要求基準としては、太字で記載されているとおり、継続事業については、令和7年度当初予算における一般財源所要額と同額の範囲内とすること、など記載の三点が示されております。</p> <p>その他4ページから5ページにかけては、予算編成における個別方針を記載しております。</p> <p>6ページに予算編成事務日程を記載しておりますが、年明け1月30日予算案内示、2月2日予算案確定、2月6日予算記者発表の予定となっております。</p> <p>これに対応する教育委員会の関係では、11月に予算要求方針等を、12月には予算要求案の概要を、2月には査定された教育予算全体と主要事業、来年度の教育行政執行方針を、それぞれ定例教育委員会、臨時教育委員会においてお諮りする予定です。以上であります。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、令和8年度予算編成方針について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
三浦給食センター長	<p>次に、報告事項(2)学校給食費単価の改定についての報告を求めます。</p> <p>三浦給食センター長をお願いします。</p> <p>報告事項(2)の学校給食費単価の改定について、ご報告いたします。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。まずは、「1 現状」ですが、昨今の物価高騰に伴う原材料費の上昇により、献立設定に苦慮するなど、給食会計に多大な影響を及ぼしている状況が続いております。令和6年度、令和7年度と、国の交付金を活用した、江別市からの補助金により、保護者負担を据え置いているところですが、令和7年度においては、物価高騰が収束せず、収支不足が生じる見込みとなったため、米高騰分などの追加補助を受けております。前回、単価改定した、令和6年4月から令和7年9月において、食材の契約単価は、全体的に上昇しており、特に精米は、約52%の上昇率となっております。</p> <p>次に、「2 令和7年度及び令和8年度における収支推計」ですが、令和7年度は、市から補助金を受領しているところですが、令和8年度において、補助が無い場合は、下記の表のとおり約8,400万円の収支不足が見込まれます。</p> <p>次に、「3 令和8年度以降の給食費単価について」の「(1) 改定について」ですが、本年9月30日と10月15日の2回にわたり開催された、江別市学校給食会理事会において、現状や収支推計から、給食費単価の増額改定は、やむを得ない旨の判断がなされました。その際に同理事会からは、市に対し、保護者負担の軽減のための補助措置を求める旨の要望意見が呈されております。</p> <p>次のページをご覧ください。「(2) 改定率」につきましては、これまでの改定や補助金算出の際に用いてきた、食料全般に係る消費者物価指数の、前回改定の令和6年4月から令和8年4月における上昇幅の推計値である14.1%とするものです。(3)では、改定後の給食費単価を記載しております。現行単価に改定率を乗じますと、各学年では44円から54円の増額となります。また、現在、保護者負担額は、現行単価から補助分を差し引いたものとしていますが、改定後、補助が無い場合、各学年の保護者負担額は、72円から88円の増額となります。次に、「(4) 1か月及び12か月当たりの増額」ですが、ひと月当たりの金額では、704円から864円、保護者負担額は、1,152円から1,408円の増額となり、12か月では、8,272円から10,152円、保護者負担額</p>

	<p>は、１３，５３６円から１６，５４４円の増額となります。</p> <p>最後に、「４ 今後のスケジュール」ですが、１１月中旬には、江別市の公式ホームページにて当件を掲載し、１２月中旬頃には「給食センターだより」を配布、さらに２月に「広報えべつ２月号」にて、本件を周知いたします。</p> <p>給食センターでは、今後、国における小学生無償化などの動きを注視しつつ、引き続き安全・安心な学校給食の安定的な提供に努めて参ります。説明は以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、学校給食費単価の改定について、質問等がございましたらお受けします。</p>
黒川教育長	
麓委員	<p>ただいまの説明の中で、最後に「無償化」という言葉が出てきました。道内でもいくつか無償化になっているところがあるとニュースで見ましたが、江別市での無償化の見通しや可能性はありますでしょうか。</p>
三浦給食センター長	<p>国においては、小中学生の給食費無償化の流れとして、今年の２月に与野党の３党合意で意見書が交わされ、内容としては令和８年４月からまずは小学生から無償化し、中学生についてはその後速やかにできるだけ早く開始したいというようなことが述べられておりました。また、今年８月に発表された国の令和８年度予算の概算要求資料には、給食費の無償化については具体的な金額が示されない「事項要求」とされ、現在、制度設計の議論が続いていると報道されている状況です。いずれにいたしましても、令和８年度の国の予算が成立してから実現されるものと考えられることから、市としてはいまの段階では国の動向を注視していきたいと考えております。</p>
黒川教育長 新館委員	<p>そのほか質問はございますか。</p> <p>食品の価格高騰はずっと続いているので、おそらく各市町村でも給食費の値上げがされているかと思いますが、他の市町村で値上げがどのくらいされていて、給食費単価がどのくらいなのか、もしわかれれば教えていただきたいと思います。</p>
三浦給食センター長	<p>令和７年度の現在における石狩管内各市町村の給食費単価について、各学年によって単価は違うのですが、中学生を参考にお伝えいたしますと、江別市は３８５円、北広島市が３４２円、当別町が３３９円、恵庭市が３３７円、札幌市が３２８円、石狩市が３２６円、新篠津村が３２３円、千歳市が３７２円となっており、他市でも、具体的な金額は、決まっておりますが、単価改定について検討していると聞いております。</p>
黒川教育長 松田委員	<p>そのほか質問はございますか。</p> <p>数字を伺うと江別市の３８５円は千歳市の３７２円を上回り管内で一番高いということになりますが、どのような要因が想定されるのでしょうか。</p>
三浦給食センター長	<p>各市町村において給食費単価は違うのですが、江別市においては給食費単価の前提として、主食、牛乳、副食と分かれております。主食については多くの自治体で北海道学校給食会から統一単価で購入しております。牛乳については北海道農政部で一括調達しており統一単価となっております。副食の食材選定は、市町村によって違うのですが、江別市では、江別市学校給食会が、江別市学校給食会に登録している複数の業者から見積りをいただいております。その中から、基本的には、できるだけ金額の安い食材を調達しております。食材の選定にあたっては、第一に江別産、第二に道内産、次に道外産というように、価格第一とせず、地元を意識して品質を重視した食材を選定しております。江別市の単価設定の根拠として、単に食事の提供だけではなく、食育という観点から、新鮮な地場産食材を積極的に活用し、質にこだわった給食を提供していることから、他市と比べて、単価に差があると認識しております。</p>
佐藤教育部長	<p>新館委員から、他市町村の値上げの状況というご質問がありましたので補足いたします。先ほど申し上げた給食費単価ですと江別市が一番高いという状況ではありますが、実際に給食の材料費にいくら掛かっているか各市町村に聞き取ったところ、江別市が突出して多く掛かっているというわけではなく、他市町村でも同じくらい掛かっていると聞き及んでおります。江別市の場合は、給食費を値上げして、そこにいくら物価高騰対策の補助金を入れるかということで保護者負担を下げているという状況です。他の市町村では、給食費が保護者からいただく額そのままで、実際に掛かっている額は上乘せしている部分があるというところで、単純に江別市が高いというわけではなく、他の市町村も概ね同じくらいの材料費が掛かっているということでご理解いただきたいと思います。</p>
黒川教育長 兼子委員	<p>そのほか質問はございますか。</p> <p>物価高騰が直接響いているというのがあると思うのですが、交付金が出るか出ないのか</p>

<p>黒川教育長</p> <p>三浦給食センター長</p>	<p>不安な部分もありますし、保護者負担というものは重要な部分となっていると思うので、いろいろな形でしっかり学校給食を運営できるようお願いしたいと思います。</p> <p>そのほか質問はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項（３）江別市学校給食用食器検討委員会の開催についての報告を求めます。</p> <p>三浦給食センター長をお願いします。</p>
	<p>報告事項（３）の学校給食用食器検討委員会の開催について報告いたします。</p> <p>資料をご覧ください。「１ 江別市学校給食用食器検討委員会について」でございますが、当委員会では学校給食用食器の安全性等に関する調査審議を行い、食器の更新、選定について教育委員会に意見・提言等を述べる組織であり、前回は箸の更新のため令和４年度に同委員会を開催しております。</p> <p>次に、「２ 江別市学校給食用食器検討委員会を開催する理由」について、ご説明いたします。当市では、平成１９年度から学校給食用食器として強化磁器食器を使用しています。衝撃に強い食器ではありますが、陶磁器である以上、破損を完全に防ぐことはできず、実際に、破損により児童生徒が被害に遭う危険性がある事案も発生していることから、食器の安全性について改めて検討したいと考えております。</p> <p>次に、「３ 委員会委員について」でございますが、委員会委員について、市民の多様な意見を反映することを目的として、市民委員公募委員を追加するため、７月に要綱を改正しております。現在、今回の委員会委員について改正した要綱に基づき、記載の表のとおり選出を進めているところであります。なお、委員数は８人以内をもって組織いたします。</p> <p>最後に、「４ 今後のスケジュール」（予定）についてでございますが、第１回の委員会を１２月に開催し、記載のとおり進めることを予定しております。実際に食器を変更する時期については、検討委員会の検討後に、教育委員会による審議を経て変更となった際には、令和８年の秋に新しい食器購入に係る予算要望を市長部局に提出し、最短で令和９年度中から開始時期となります。以上です。</p>
<p>黒川教育長</p> <p>麓委員</p> <p>三浦給食センター長</p> <p>黒川教育長</p>	<p>ただいま報告のありました、江別市学校給食用食器検討委員会の開催について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>この食器の検討というのは、ご飯を入れる容器も含まれるのでしょうか。</p> <p>今回の食器検討については、ご飯を入れる容器は含まれておらず、副食を入れる容器が該当となります。</p> <p>そのほか質問はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、２の審議事項に入ります。</p> <p>審議事項（１）令和７年議案第３０号江別市特別職の職員の期末手当の支給割合引上げに係る意見について、説明を求めます。</p> <p>山崎総務課長をお願いします。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>議案第３０号江別市特別職の職員の期末手当の支給割合引上げに係る意見について、ご説明いたします。</p> <p>議案の３ページをご覧ください。これは、市長が、令和７年第４回市議会定例会において、「江別市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正」を行うにあたり、特別職である教育長の期末手当の支給割合も改正する必要性が生じることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２９条の規定に基づき、教育委員会に対し、当該条例の一部改正について意見を求めているものであり、今後の国の動向によっては議案提出が令和８年第１回市議会定例会となる可能性があるとのことではありますが、教育委員会として本件を承認する旨回答することについて、ご審議をお願いしたく、ご提案申し上げる次第です。</p> <p>２条例（案）概要であります。令和７年の人事院勧告を受けて、一般職については、勧告の内容に準じて期末及び勤勉手当支給割合をそれぞれ０．０２５月分引き上げ、期末・勤勉手当年間支給割合の計を４．６５月分とすることから、特別職においても一般職の支</p>

黒川教育長	<p>給割合に準じ、期末手当の支給割合を引き上げるものでございます。</p> <p>次に、1ページをご覧ください。改正内容をご説明いたします。1の(1)令和7年12月の期末手当支給率であります、改正前の2.30月から0.05月引き上げ、2.35月とします。(2)令和8年度以後の期末手当支給率であります、改正前の6月、12月それぞれ2.30月、合計4.60月から、6月、12月それぞれ0.025月、合計0.05月引き上げ、それぞれ2.325月、合計4.650月とします。なお、令和7年12月の支給に係る改正規定は、公布の日から施行し、令和7年12月1日から適用、令和8年4月以後の支給に係る改正規定は、令和8年4月1日から施行となります。</p> <p>参考といたしまして、4ページに人事院勧告への江別市の対応についてを、5ページと6ページに条例改正に係る新旧対照表を添付しております。また、2ページが、江別市長に対し改正後の内容を承認する回答文案となっておりますので、ご参照願います。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和7年議案第30号江別市特別職の職員の期末手当の支給割合引上げに係る意見についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
稲田学校教育課長	<p>次に、審議事項(2)令和7年議案第31号江別市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、説明を求めます。</p> <p>稲田学校教育課長お願いします。</p> <p>議案第31号江別市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、ご説明いたします。</p> <p>議案の1ページをご覧ください。はじめに、1改正理由であります、北海道立学校職員服務規程の一部を改正する教育長訓令により、関係様式が変更されたことから、その取扱いに準じて、江別市立学校管理規則における字句の整備を行うとともに、関係様式を変更するものであります。また、江別市立学校管理規則で定められている卒業証書様式について、教育現場の負担軽減を図るために割印の欄を削除するほか、学校で使用する公印の規格及び定位置について字句の整備を行います。</p> <p>次に改正内容につきまして、9ページの新旧対照表によりご説明いたします。まず、1点目の改正は、小学生の子を養育する教職員が取得できる「子育て部分休暇」に関して、休暇の請求時に用いる様式が、「子育て部分休暇承認請求書」から「子育て部分休暇簿」に変更となるものであります。具体的な様式の変更につきましては、13ページから15ページに記載しておりますので、後ほどご確認くださいませよう、お願いいたします。なお、今次の改正は、子育て部分休暇が、これまで「1日につき2時間を超えない範囲内」で取得可能だったものが、それに加えて、「1年につき10日を超えない範囲内」での取得も可能となり、いずれかを選択して請求できるように変更されたことによるものであります。</p> <p>資料9ページ中段をご覧ください。2点目の改正は、各学校で保管している学校の印についてであり、別表2にありますとおり、これまでは、45ミリ平方メートル及び30ミリ平方メートル規格の2種の印が各学校に1個と定められておりましたが、これを実際に各学校で保管している印の規格に合わせて、右側の表のとおり5種の規格に改正いたします。</p> <p>次に資料12ページをご覧ください。第12号様式では卒業証書の記載内容が定められておりますが、教育現場の負担軽減を図るため、左下の割印の欄を削除する改正を行います。</p> <p>改正箇所は以上であり、この内容による改正規則を2ページから8ページに掲載しておりますので、ご参照願います。</p> <p>なお、この規則は公布の日から施行し、子育て部分休暇に関する規定は、令和7年10月1日から適用いたします。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
黒川教育長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和7年議案第31号江別市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定に</p>

松井スポーツ課長	<p>ついてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、審議事項(4)令和7年議案第33号指定管理者の指定について、説明を求めます。</p> <p>松井スポーツ課長お願いします。</p> <p>議案第33号指定管理者の指定についてご説明いたします。</p> <p>資料をご覧ください。スポーツ課が所管しております江別市あけぼのパークゴルフ場につきまして、江別市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条の規定に基づき、当該施設の指定管理者となるべき団体の公募及び選定を行いました。地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、被選定者を指定管理者として指定するため、あらかじめ議会の議決を求めるもので、11月26日から開催予定の江別市議会第4回定例会へ提出を予定しております。</p> <p>資料の1「指定管理者に管理を行わせる施設」は、江別市あけぼのパークゴルフ場です。2の「申込みを受け付けた期間」及び、3「募集要項等説明会の実施年月日」は記載のとおりです。4の「申込みのあった団体数」は、現指定管理者でありますエコ・グリーン事業協同組合の1団体で、5の「指定管理者選定委員会に対する申込者からのプレゼンテーション及び質疑」は、10月15日に実施いたしました。6の「被選定者の所在地及び名称」は、江別市東野幌町13番地1、エコ・グリーン事業協同組合であり、7の「指定期間」は、令和8年4月1日から令和12年3月31日までです。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
黒川教育長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和7年議案第33号指定管理者の指定についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、審議事項(5)令和7年議案第34号指定管理者の指定について、説明を求めます。</p>
松井スポーツ課長	<p>松井スポーツ課長お願いします。</p> <p>議案第34号指定管理者の指定についてご説明いたします。</p> <p>資料をご覧ください。スポーツ課が所管しております江別市森林キャンプ場につきまして、江別市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条の規定に基づき、当該施設の指定管理者となるべき団体の公募及び選定を行いました。地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、被選定者を指定管理者として指定するため、あらかじめ議会の議決を求めるもので、11月26日から開催予定の江別市議会第4回定例会へ提出を予定しております。</p> <p>資料の1「指定管理者に管理を行わせる施設」は、江別市森林キャンプ場です。2の「申込みを受け付けた期間」及び、3「募集要項等説明会の実施年月日」は記載のとおりです。4の「申込みのあった団体数」は、現指定管理者でありますエコ・グリーン事業協同組合の1団体で、5の「指定管理者選定委員会に対する申込者からのプレゼンテーション及び質疑」は、10月15日に実施いたしました。6の「被選定者の所在地及び名称」は、江別市東野幌町13番地1、エコ・グリーン事業協同組合であり、7の「指定期間」は、令和8年4月1日から令和12年3月31日までです。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
黒川教育長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和7年議案第34号指定管理者の指定についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、審議事項(6)令和7年議案第35号江別市長の権限に属する事務の補助執行廃止について、(7)議案第36号江別市陶芸の里条例の廃止に係る意見について、(8)議</p>

山崎総務課長	<p>案第37号江別市セラミックアートセンター条例の制定について、以上3件について、一括説明を求めます。</p> <p>山崎総務課長お願いします。</p> <p>議案第35号から第37号まで、一括してご説明いたします。</p> <p>市では、「陶芸の里構想」を、令和7年度末をもって廃止する方針であることから、同構想に基づき設置されている江別市セラミックアートセンターに関連し、3件の議案をご提案申し上げる次第です。</p> <p>まず、議案第35号江別市長の権限に属する事務の補助執行廃止についてでございます。本議案は、市長からの協議の申し出に対し、教育委員会として同意する旨回答することについて、ご審議をお願いするものです。</p> <p>議案の3ページをご覧ください。これは、市長が「陶芸の里構想」を廃止するにあたり、これまで教育部長に補助執行させていたセラミックアートセンターの事務を廃止したいとして、地方自治法第180条の2の規定に基づき、協議を申し出ているものであります。江別市セラミックアートセンターは、「陶芸の里構想」に基づき、平成6年に市が設置した施設であります。その後、平成14年4月から社会教育機能を持つ施設とするため、施設の管理運営及び事業運営並びに使用許可に係る事務を、市長が教育部長に補助執行させていたものであります。「陶芸の里構想」廃止後は、当該施設を教育委員会が所管する社会教育施設とするため、この補助執行を令和8年4月1日に廃止したいとの内容でございます。この協議に対し、教育委員会として同意する旨の回答文案を2ページに記載しておりますので、ご参照願います。</p> <p>続きまして、議案第36号江別市陶芸の里条例の廃止に係る意見についてでございます。本議案は、市長からの意見聴取に対し、教育委員会として承認する旨回答することにつきまして、ご審議をお願いするものでございます。</p> <p>議案の3ページをご覧ください。これは、「陶芸の里構想」の廃止に伴い、市長が、令和7年第4回市議会定例会において、江別市陶芸の里条例を廃止する必要があることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、教育委員会に対して意見を求めているものであります。江別市陶芸の里条例は、セラミックアートセンターの設置根拠となる条例であります。これを令和8年4月1日に廃止して良いかとの内容でございます。この意見聴取に対し、教育委員会として承認する旨の回答文案を2ページに記載しておりますので、ご参照願います。</p> <p>続きまして、議案第37号であります。こちらはセラミックアートセンター事業担当参事からご説明いたします。</p>
黒川教育長 兼平セラミックアートセンター事業担当参事	<p>兼平セラミックアートセンター事業担当参事お願いします。</p> <p>引き続き、議案第37号江別市セラミックアートセンター条例の制定について、ご説明いたします。本議案は、「陶芸の里構想」及び江別市陶芸の里条例の廃止に合わせ、江別市セラミックアートセンターを社会教育施設としてあらためて設置するため、令和7年第4回市議会定例会に提出する条例案について、ご審議をお願いするものです。</p> <p>議案の1ページをご覧ください。まず、1の制定理由であります。江別市陶芸の里構想の廃止に伴い、同構想に付随し、セラミックアートセンターの事業や、使用の許可に関する規程について定めている「江別市陶芸の里条例」も廃止となることから、新たにセラミックアートセンター条例を制定するものであります。</p> <p>次に、2の条例（案）の概要であります。2ページをご覧ください。第1条の「設置」におきまして、これまでの陶芸文化の普及振興やれんが産業の学びの機会を提供することに加え、施設環境を活かした生涯学習活動の場を提供することや、文化と芸術による魅力あるまちづくりと交流人口の拡大に資することとを旨としております。第3条では、第1条の目的を具体化するための事業として、陶芸及びその他の芸術分野における市民の文化活動の支援に関すること、陶芸作品並びに窯業資料その他美術作品や産業遺産資料の収集、展示及び調査に関すること、さらに、江別市内に所在する窯業並びに関連する近代産業分野における文化観光資源の保全と活用に関することなど5点の項目を事業の方針としております。第4条（職員）では、事務の執行及び施設管理に必要な職員の配置を規定し、第5条からは、施設の使用に関する規定となっており、陶芸の里条例で規定しておりました、施設の使用申請許可などの管理運営に関する事項は継承いたしますが、使用許可権限者を江別市長から教育委員会へ変更するものであります。参考としまして、8ページから11</p>



黒川教育長	<p>ページに、陶芸の里条例とセラミックアートセンター条例との比較表を添付しております。</p> <p>以上、議案第35号ないし第37号について、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま説明のありました3件の議案に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、1件ずつ承認をお諮りします。</p> <p>令和7年議案第35号江別市長の権限に属する事務の補助執行廃止についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、令和7年議案第36号江別市陶芸の里条例の廃止に係る意見についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、令和7年議案第37号江別市セラミックアートセンター条例の制定についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他、各課所管事項についてに入ります。</p> <p>(1) 陳情書、要望書及び「市民の声」に係る処理経過についての説明を求めます。</p> <p>山崎総務課長お願いします。</p>
山崎総務課長	<p>資料をご覧ください。令和7年4月から9月までの間に、陳情書、要望書の教育委員会関係分として処理したものは、1ページに掲載の5件です。また、令和7年4月から9月までの間に、「市民の声」の教育委員会関係分として処理したものは、2ページから3ページに掲載の15件です。詳細は、資料記載のとおりでございます。以上です。</p>
黒川教育長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>本件は、これで終了いたします。</p> <p>次に、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。</p> <p>山崎総務課長お願いします。</p>
山崎総務課長	<p>今回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和7年度江別市一般会計補正予算の査定について、審議事項として、令和8年度江別市一般会計教育予算要求方針について、などを予定しております。</p> <p>また、今回の定例教育委員会の日程でございますが、11月27日木曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
黒川教育長	<p>ただいまありましたように、今回の定例教育委員会は、11月27日木曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、令和7年第10回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後3時23分

署名人(教育長) 黒川 淳司

署 名 人 麓 美絵